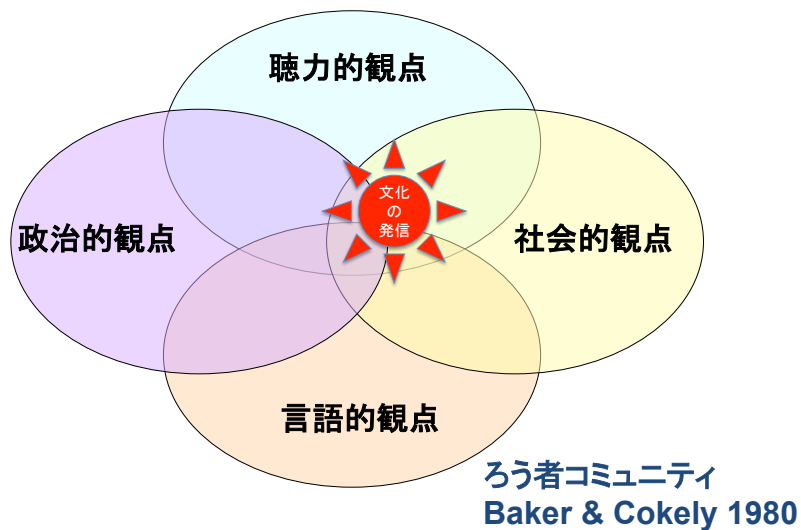


デフ・コミュニティ(広義・狭義)



コミュニティとメディア

ムラ

情報の媒体

写真や文章はインターネットからコピーしたものを使用しています。

江戸時代のメディア

新聞の始まり“かわら版”

信書を走って運ぶ“飛脚”



朝聞山(浅間山)大やけ(大噴火)の次第 天明三年(1783年)
http://www.um.u-tokyo.ac.jp/publish_db/1999news/02/20201.html



<http://cancer-treatment-with-diet-cure.doorblog.jp/archives/48228700.html>

放送

通信

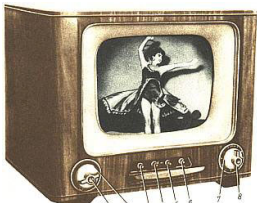
ラジオ

1925(大正14)年
放送開始



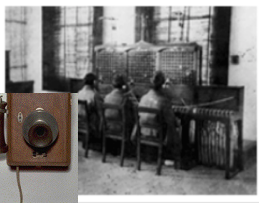
テレビ

1953(昭和28)年
放送開始



電話

1890(明治23)年
東京・横浜で電話開通



放送

通信

放送法

電気通信事業法

「公衆によって直接受信されることを目的とする無線通信の送信」

「有線、無線その他の電磁的方式により、符号、音響又は影像を送り、伝え、又は受けること」

インターネット

通信と放送の融合・連携

盲人向けのメディア 点字による新聞

大阪毎日新聞社が1922(大正11)年「[点字大阪毎日](#)」を発行



点字とは紙面の突起した点を指先の触覚により読み書きの用を果たす盲人用の文字である。日本点字は明治23年、東京盲啞学校訓導、石川倉次(1859-1944)がフランスのルイ・ブライユ(1809-1852)の縦3点、横2点を基本とする6点点字をアレンジして考案、明治34年には拗音を加えて完成を見る。



中村京太郎(全盲)

週刊点字新聞「点字毎日」は、「点毎」の愛称で大正11年5月11日、創刊された。英国留学から帰国した中村京太郎(1880-1964)は東京で点字新聞「あけぼの」を自力で細々と発行していた。好本督(1878-1973)らの強い働きかけで大阪毎日新聞社を動かし、大毎本社新築記念事業として点字毎日の発行が決まった。中村を編集主任に迎え、大野加久二(1897-1983)、小島謹一の3人に、中村夫人アツを迎えて点字新聞の編集が始まった。

<http://shisly.cocolog-nifty.com/blog/2014/05/post-fdaf.html>

日本聴力障害新聞

• 発行の社会的意義(ろう者コミュニティの視点)は？

- ① 情報アクセシビリティ: 日本語の苦手なろう者への配慮
- ② コンテンツ: ろう者コミュニティ内外のニュース、情報
- ③ 社会啓発: ろう者・手話への理解の推進

